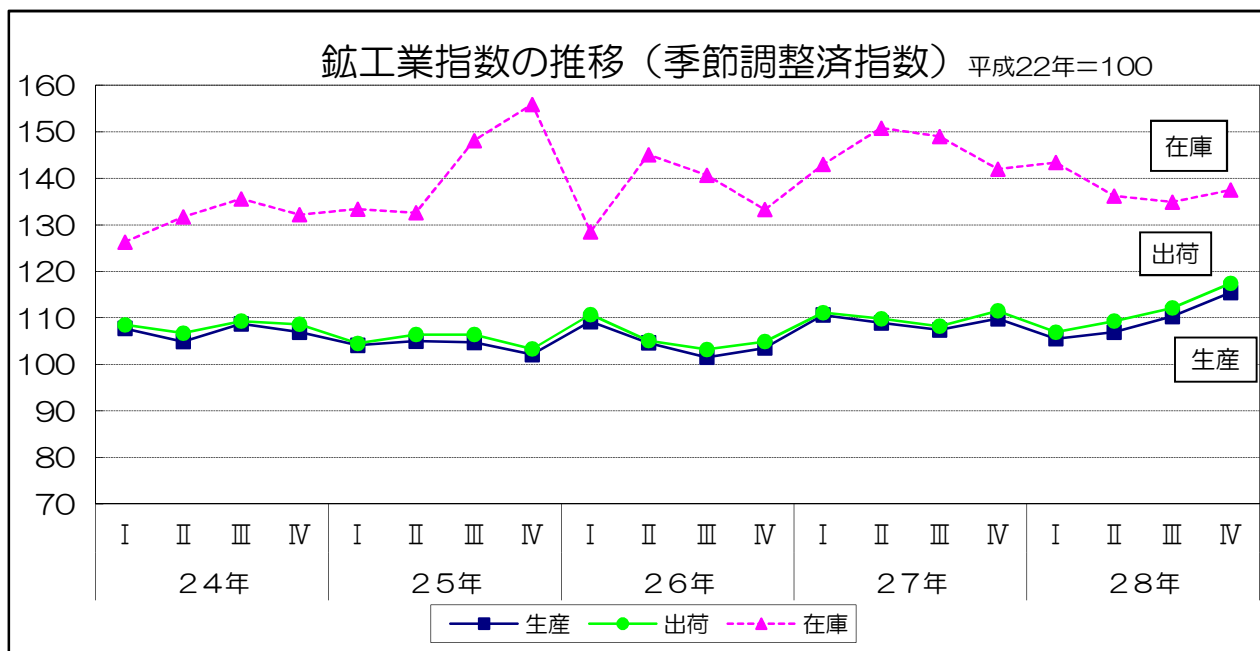


平成28年福岡県鉱工業指数の動向

1 概況

(1) 業種別動向（全19業種・主要業種の動向はp.5以降を、全業種の推移はp.13以降を参照）

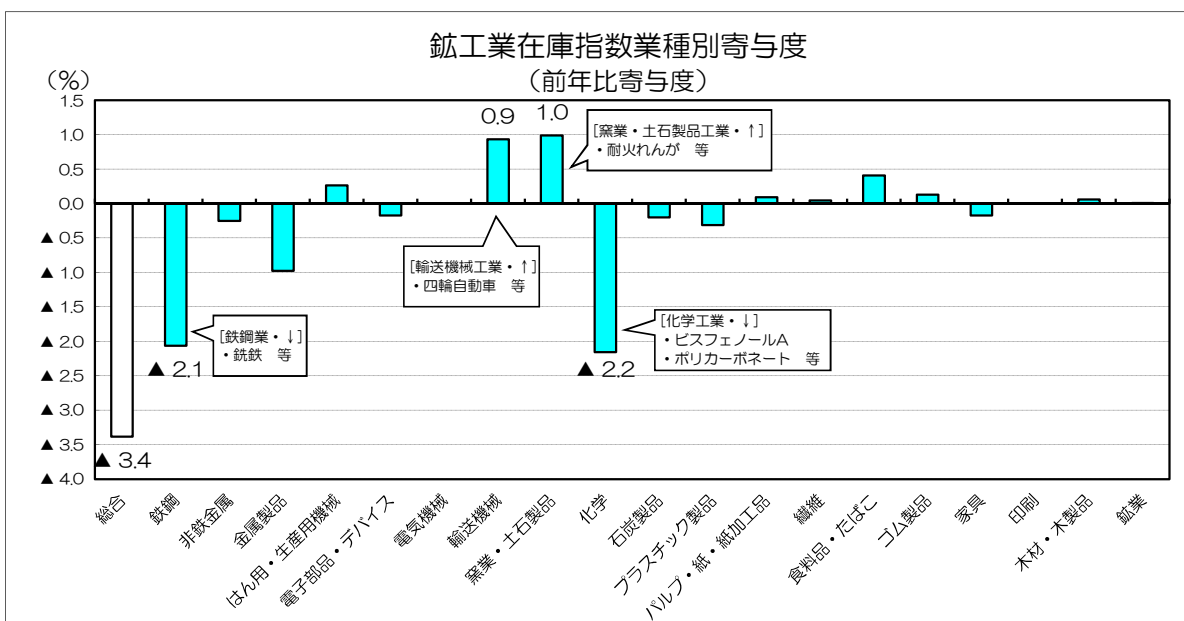
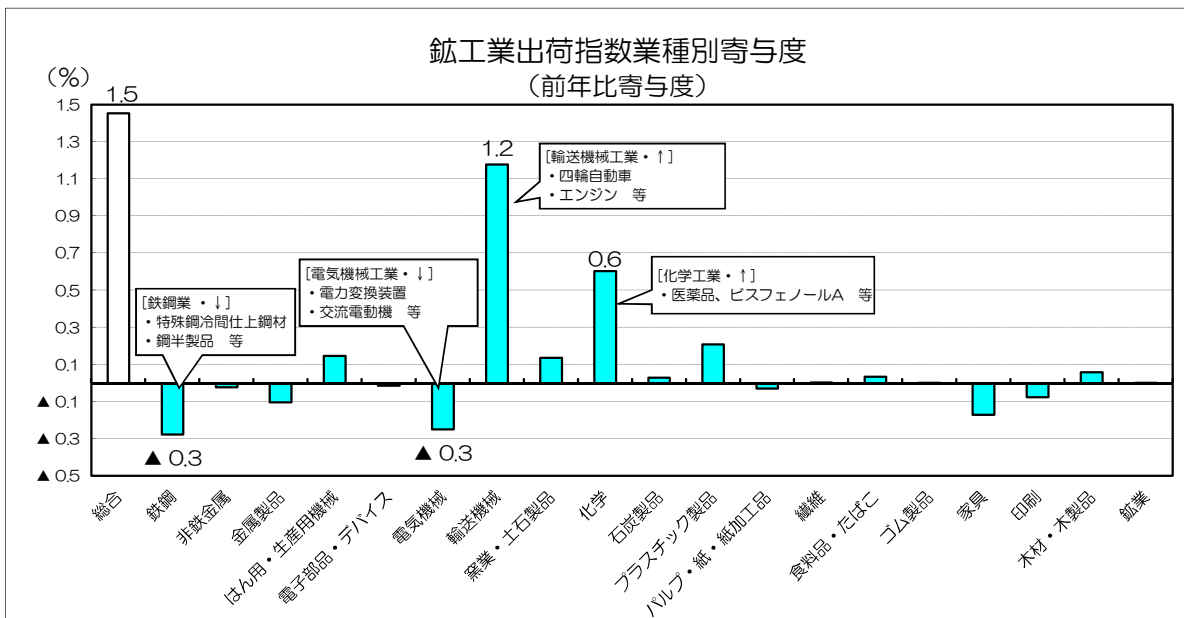
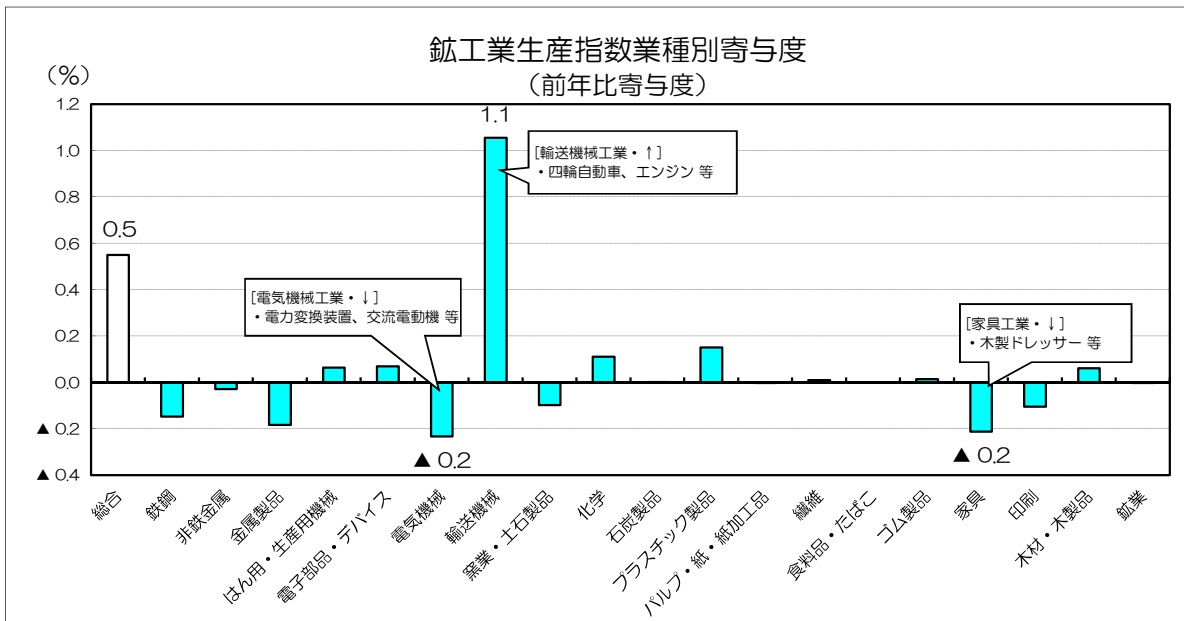
- ① 生産
28年の生産指数は109.8で、前年比0.5%増と3年連続の上昇となった。
業種別では、電気機械工業、家具工業など9業種は低下したものの、
輸送機械工業など9業種が上昇した。
- ② 出荷
28年の出荷指数は111.7で、同1.5%増と3年連続の上昇となった。
業種別では、鉄鋼業、電気機械工業など8業種は低下したものの、
輸送機械工業、化学工業など11業種が上昇した。
- ③ 在庫（全18業種）
28年の在庫指数は134.2で、同3.4%減と2年ぶりの低下となった。
業種別では、窯業・土石製品工業、輸送機械工業など9業種は上昇したものの、
化学工業、鉄鋼業など8業種が低下した。



鉱工業指数の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数）

平成22年=100

	24年	25年	26年	27年	28年	平成22年=100			
						I	II	III	IV
生産	107.2	103.9	104.6	109.2	109.8	105.5	106.9	110.3	115.4
前期(年)比	5.4	▲3.1	0.7	4.4	0.5	▲3.9	1.3	3.2	4.6
前年同期比	—	—	—	—	—	▲3.6	▲2.2	1.6	6.3
出荷	108.6	105.1	105.9	110.1	111.7	106.9	109.3	112.1	117.4
前期(年)比	5.6	▲3.2	0.8	4.0	1.5	▲4.1	2.2	2.6	4.7
前年同期比	—	—	—	—	—	▲2.6	▲1.2	2.7	6.6
在庫	130.6	156.4	134.4	138.9	134.2	143.4	136.2	134.9	137.5
前期(年)比	8.1	19.8	▲14.1	3.3	▲3.4	1.0	▲5.0	▲1.0	1.9
前年同期比	—	—	—	—	—	0.9	▲9.5	▲9.7	▲3.4



※枠内の品目については、各業種の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載

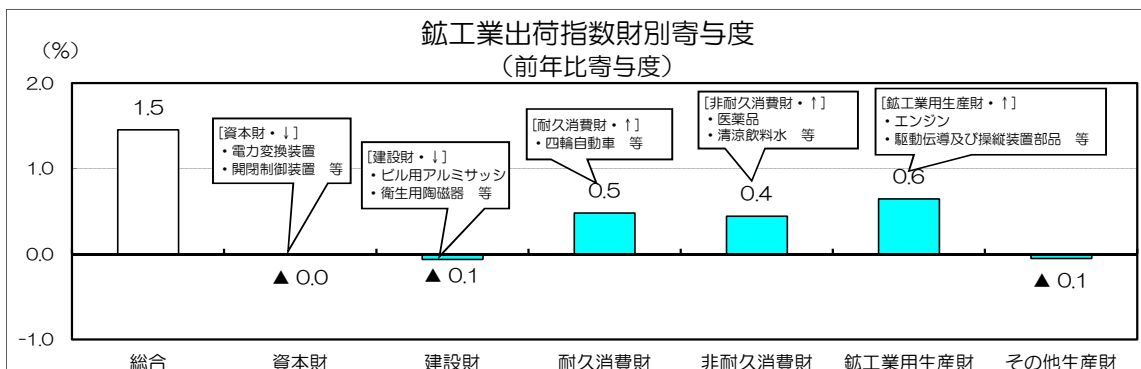
(2) 財別動向（生産・在庫の詳細はp.38以降を参照）

財別の出荷指数を用いて、耐久消費財、資本財などの財の需要動向や、財の動きを通して最終需要の動きを把握することができる。

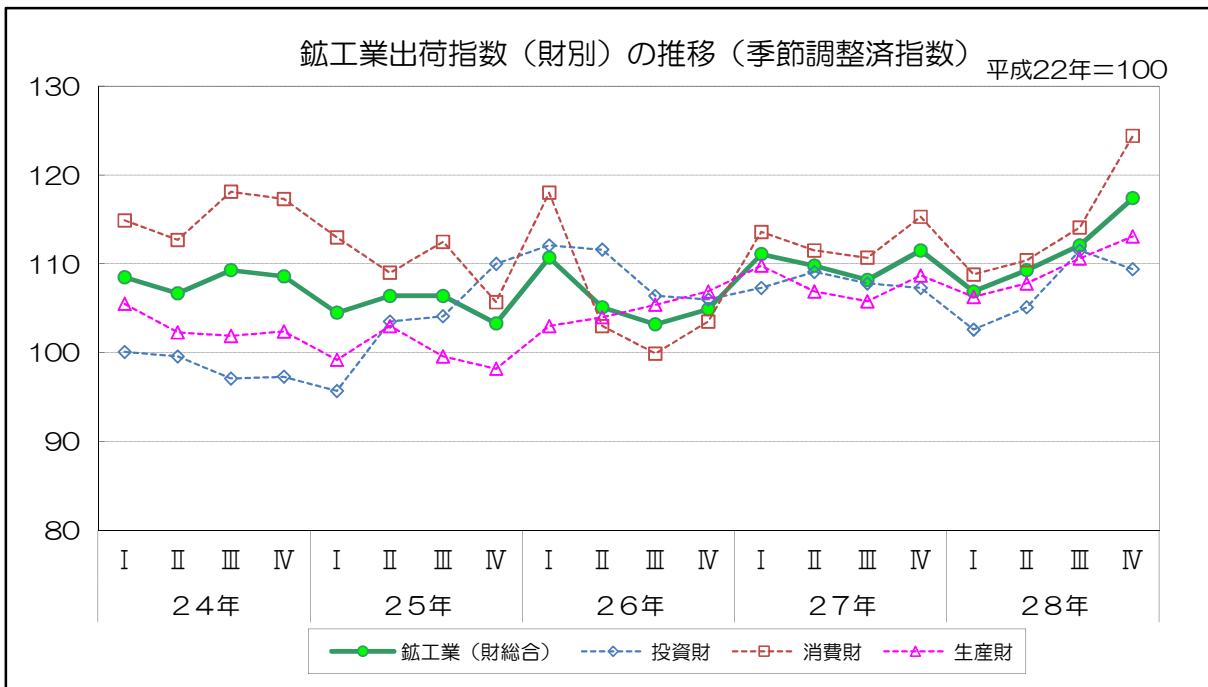
- 総合出荷指数は111.7で、前年比1.5%増で3年連続の上昇となった。最終需要財は同1.3%増と2年連続の上昇となった。生産財は同1.5%増と3年連続の上昇となった。
- 最終需要財のうち、資本財は、電力変換装置、開閉制御装置などが低下したため、同0.2%減で4年ぶりの減少となった。建設財は、ビル用アルミサッシ、衛生用陶磁器などが低下したため、同1.0%減と3年連続の低下となった。
耐久消費財は、四輪自動車などが上昇したため、同1.5%増で2年連続の上昇となった。
非耐久消費財は、医薬品、清涼飲料などが上昇したため、同2.7%増で2年連続の上昇となった。
- 生産財のうち、鉱工業用生産財は、エンジン、駆動伝導及び操縦装置部品などが上昇したため、同1.9%増と3年連続の上昇となった。その他用生産財は、平版印刷（オフセット印刷）などが低下したため、同1.2%減と2年連続の低下となった。

鉱工業出荷指数（財別）の推移（年は原指数、四半期は季節調整済指数） 平成22年=100

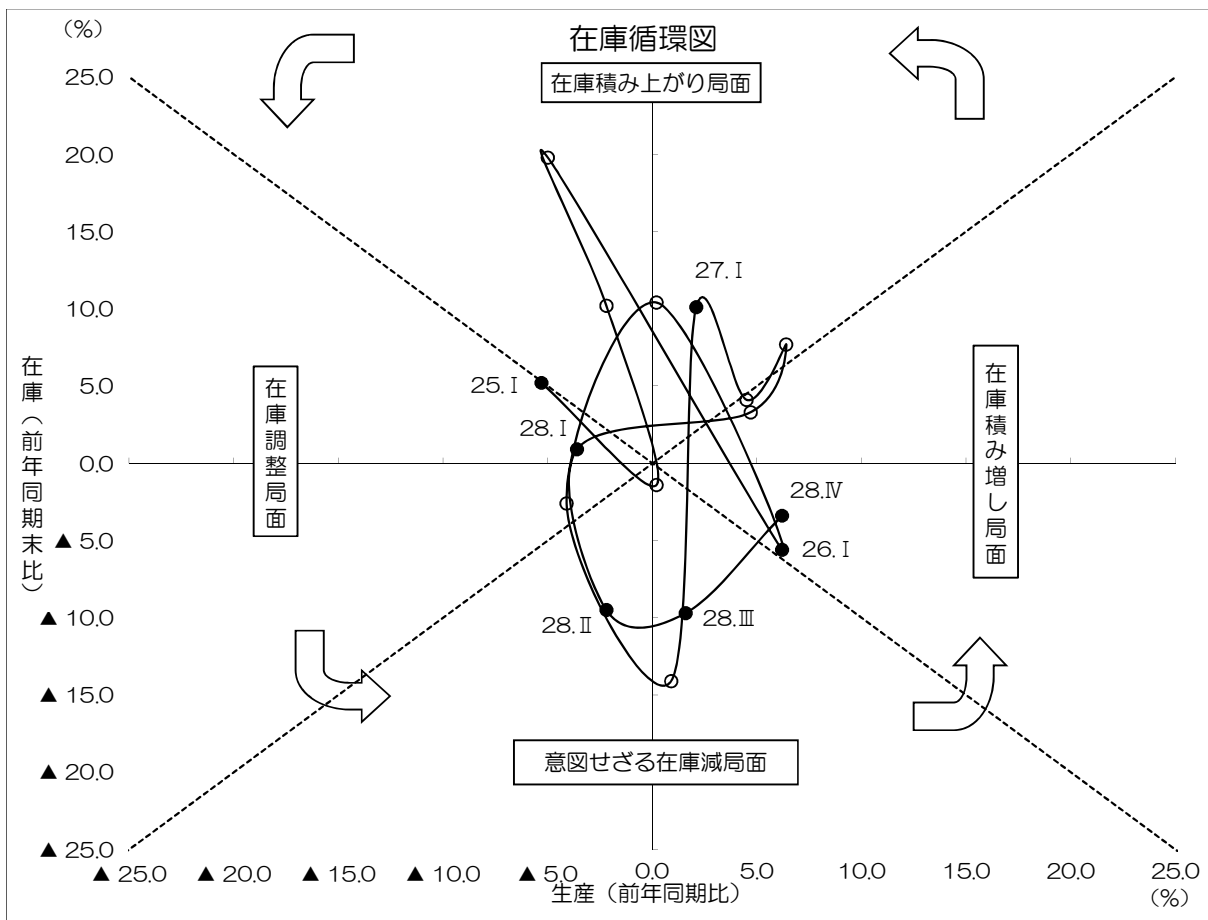
	24年	25年	26年	27年	28年	平成22年=100			
						I	II	III	IV
鉱工業総合	108.6	105.1	105.9	110.1	111.7	106.9	109.3	112.1	117.4
前期（年）比	5.6	▲3.2	0.8	4.0	1.5	▲4.1	2.2	2.6	4.7
前年同期比	-	-	-	-	-	▲2.6	▲1.2	2.7	6.6
最終需要財	112.0	108.4	106.5	111.7	113.2	107.3	109.8	113.3	120.4
前期（年）比	8.3	▲3.2	▲1.8	4.9	1.3	▲5.2	2.3	3.2	6.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲2.3	▲2.1	1.7	7.9
投資財	98.8	103.3	108.8	107.8	107.2	102.6	105.1	111.5	109.4
前期（年）比	▲3.0	4.6	5.3	▲0.9	▲0.6	▲4.4	2.4	6.1	▲1.9
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.1	▲3.8	4.9	1.8
資本財	92.8	95.9	110.0	113.8	113.6	106.5	113.2	117.7	115.4
前期（年）比	▲10.9	3.3	14.7	3.5	▲0.2	▲6.3	6.3	4.0	▲2.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.0	▲4.0	6.7	1.5
建設財	104.8	110.7	107.7	101.8	100.8	98.3	99.0	104.2	102.8
前期（年）比	5.1	5.6	▲2.7	▲5.5	▲1.0	▲2.5	0.7	5.3	▲1.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲5.2	▲3.3	2.8	2.1
消費財	116.1	110.0	105.8	112.9	115.1	108.8	110.4	114.1	124.4
前期（年）比	11.8	▲5.3	▲3.8	6.7	1.9	▲5.6	1.5	3.4	9.0
前年同期比	-	-	-	-	-	▲1.4	▲1.7	0.8	9.7
耐久消費財	128.5	120.4	116.0	125.1	127.0	115.1	118.4	126.4	144.5
前期（年）比	15.1	▲6.3	▲3.7	7.8	1.5	▲9.3	2.9	6.8	14.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲7.8	▲5.0	1.9	17.2
非耐久消費財	97.8	94.6	90.7	95.0	97.6	100.6	97.2	95.5	95.2
前期（年）比	5.8	▲3.3	▲4.1	4.7	2.7	3.0	▲3.4	▲1.7	▲0.3
前年同期比	-	-	-	-	-	14.0	4.5	▲1.2	▲3.5
生産財	103.2	99.9	104.8	107.7	109.3	106.3	107.8	110.6	113.1
前期（年）比	1.2	▲3.2	4.9	2.8	1.5	▲2.2	1.4	2.6	2.3
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.1	0.4	4.2	4.7
鉱工業用生産財	102.3	98.5	103.0	106.2	108.2	104.6	106.6	109.7	112.4
前期（年）比	0.4	▲3.7	4.6	3.1	1.9	▲2.6	1.9	2.9	2.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲3.4	0.5	5.1	5.4
その他用生産財	111.8	113.3	121.8	121.1	119.6	121.8	118.1	119.3	119.9
前期（年）比	8.9	1.3	7.5	▲0.6	▲1.2	▲0.2	▲3.0	1.0	0.5
前年同期比	-	-	-	-	-	▲0.6	▲1.1	▲2.5	▲1.3



※枠内の品目については、財別の上昇または下落に寄与した主な品目を掲載



(3) 在庫循環図（25年1～3月期から28年10～12月期）
 在庫循環状況を見ると、28年は「在庫調整局面」から「意図せざる在庫減局面」へ推移し、その後「在庫積み増し局面」へと推移している。



※在庫循環図の見方
 横軸に生産、縦軸に在庫の前年同期（期）比をとり、生産と在庫の関係から現状を判断する。
 一般的に、右斜め上45°より下にあるときは景気の回復期で、上にあるときは後退期と考えられる。